

ユメ渡りの

女王様
ミストレス

ラファイラスト集

for Adult only



当初のプロットは、2014年に描いた漫画「jelly a la mode vol.2」のサブキャラ 千穂のスピノフでした。

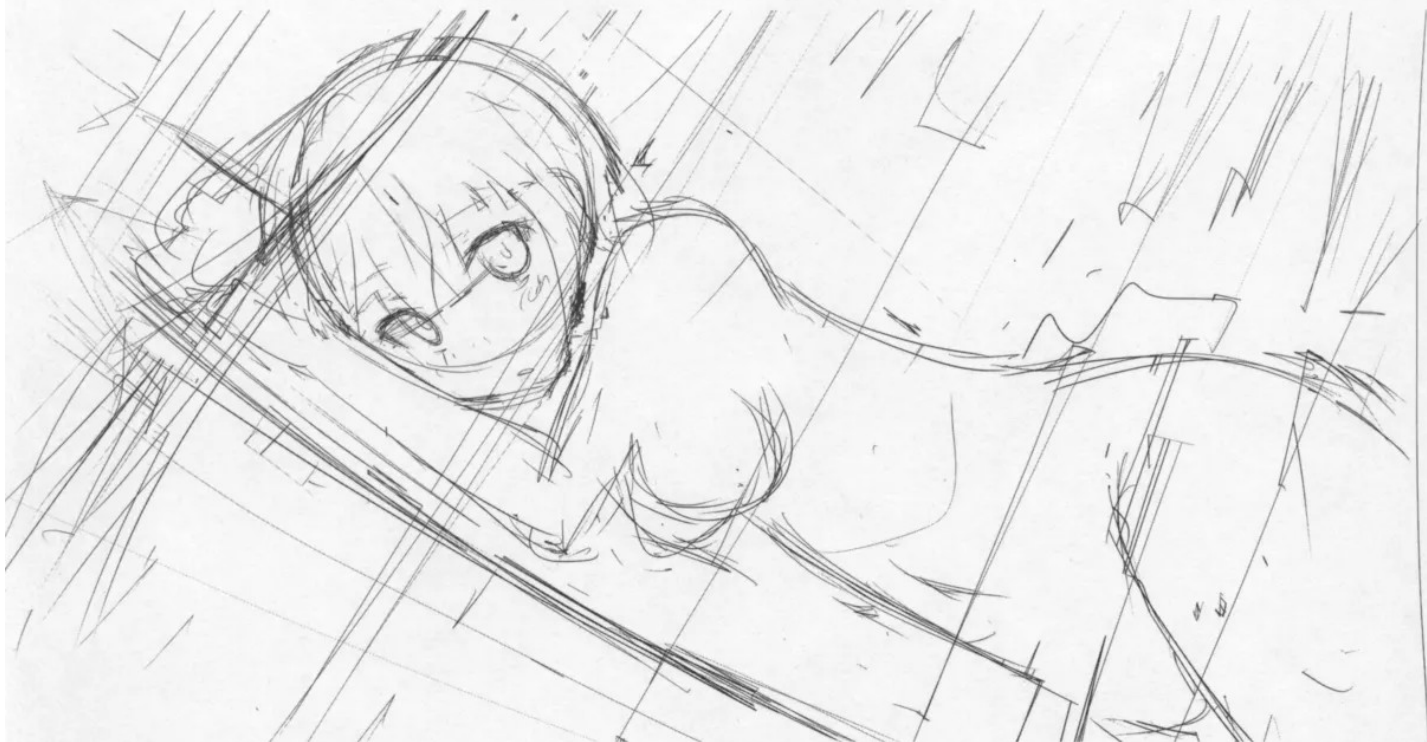
- ・千穂には同棲するサキュバスがいる
- ・ラバースーツやSMの知識はサキュバスから教えこまれたもの
- ・「jelly a la mode vol.2」の最後、自分の部屋に戻ってふて寝する千穂にサキュバスが話しかけるところからお話が始まる…といった感じでうっすらと考えていました。

プロットを練るうちにスピノフでは収まらないスケールになったため、新しいお話として描くことにしました。
あきののキャラデザも千穂が元になっています。



あきの初期デザイン

ラバースーツにファスナーがついていました。
変身シーンでラバーが液状に体を覆っていく関係で、継ぎ目の無いラバースーツになりました。
他にも髪飾りの有無、制服の形状など、細かいところであちこち変わっています。



「ユメ渡りの女王様」を描き始める1カ月くらい前に描いた絵。
リリーのキャラデザの元になりました。

あまりお姉さんキャラを描いたことがなかったので
体形のバランスを取るのに苦労した記憶があります。

あきのとリリーの関係性について。

night 2までは二人が結ばれる方向でプロットを考えていました。
night 3の最後、リリーとミラージュが会話するシーンを描いてて
リリ×ミラ、あき×みず、の組み合わせが定まった感じです。



ミラージュの原案キャラです。

こちらも「ユメ渡りの女王様」を描き始める1カ月ほど前の絵。

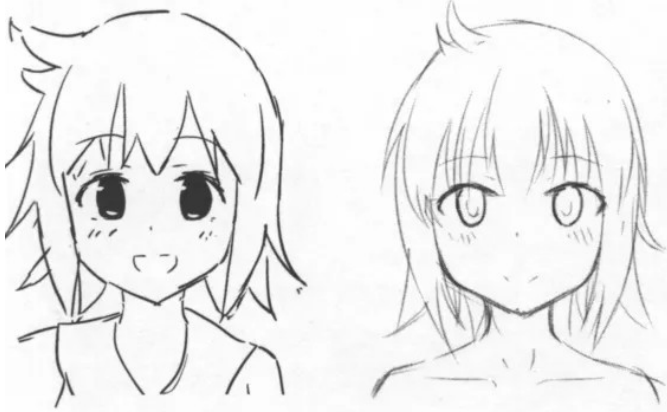
当初はアイドル系のキャラにしようと思っていました。

ミラージュだけが制服にリボンなのも、おしゃれに気を使ってる
という意味を込めていました（過去形）

頭脳明晰で、クブスカンパニー社長の娘として活躍するわけですから、
歌って踊れるとなると完璧超人すぎる…ということでアイドル系
の描写は無くなりました。

今では単に本人の好みでリボンにしている、という具合ですね。





瑞希の初期デザイン（左）と、night 4以降のデザイン（右）
いちばん画のギャップが激しいかもしれない…

当初はクラスメートだけの関係でした。
いちクライアントからメインヒロインへ大昇格したキャラです。

night 3を描く中で、あきのと瑞希の関係性を描くという方向性が固まり、night 4で瑞希の内面を掘り下げる描写を入れました。
これでようやく軌道に乗った…と安堵したのを覚えています。



あきのは二面性の強いキャラですが、
瑞希もあきのへ想いがあるのに本音と言えないなど、表裏があります。

夢も現実も関係ないサキュバスたちとは対照的です。



ヴェルの初期デザイン。
名前の由来はドイツ語のTraumwelt (夢世界)。
弟トラムの名前もここから取りました。

クセの強いキャラですが、プロットを作るときには本当に助けられました。最終話、それまでのシリアスな雰囲気を一転させるのには彼女が必要不可欠でした。
困ったときのヴェル。



ユメ渡りの女王様 (night 1) 表紙ラフ

当時、漠然と抱いていた自分自身のジェンダーへの疑問がこの漫画を作るひとつのきっかけになりました。



night 2 表紙ラフ

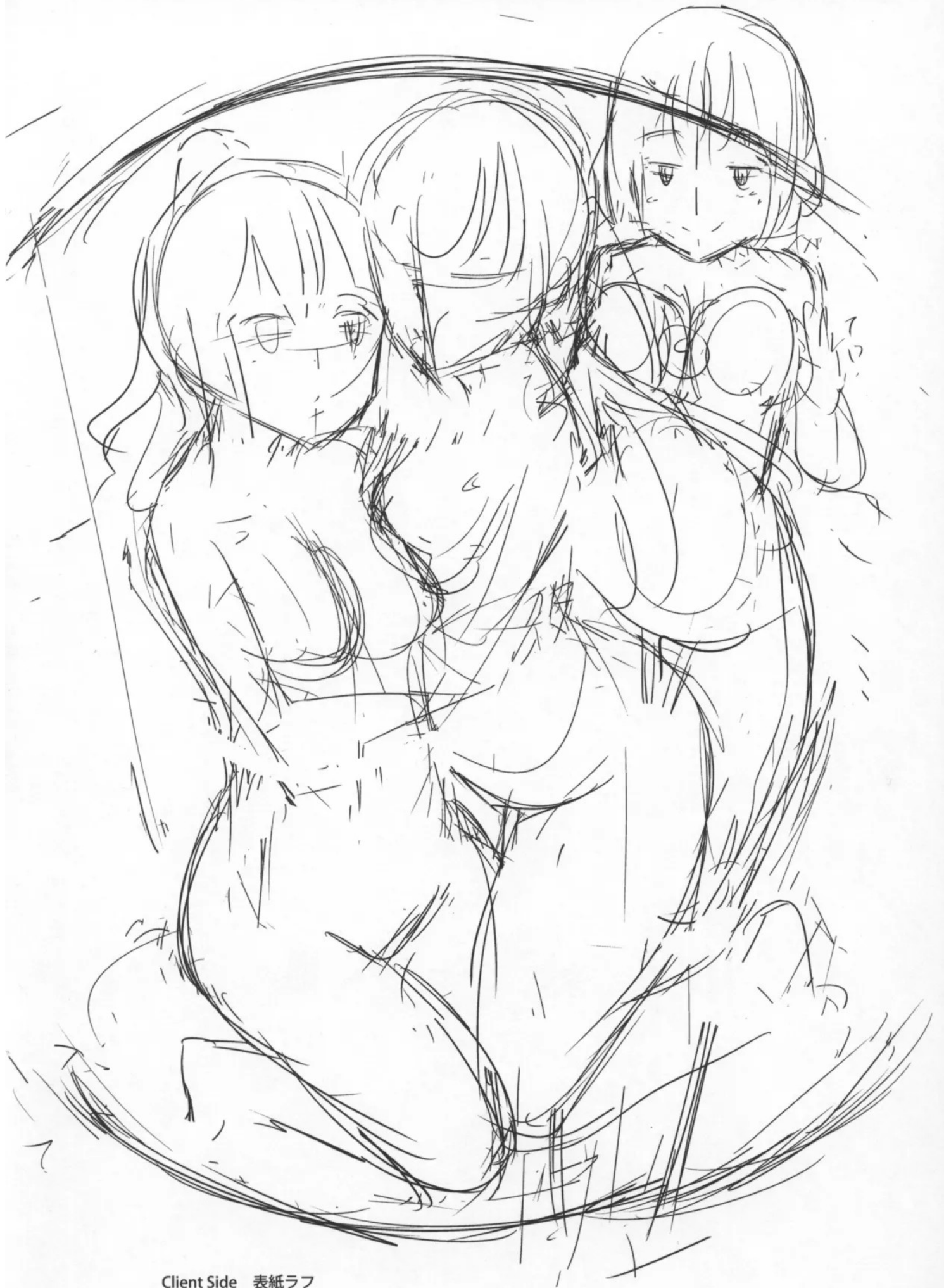
ミラージュ登場回。

それぞれのキャラクターがまだ定まってなくて、今読み返すとすこし歯痒いです。



night 3 表紙ラフ

当初のラフ（左）では“テーブル”の上に二人が乗っている構図でした。
あきの顔の位置（後述）の理由でボツになるのですが、ダブルピース固めの
インパクトが思った以上に強かったという理由もあります。



Client Side 表紙ラフ

night 4のプロットがまとまらなかった時期に描いたお話。

リリーの過去にも触れているので、今思えば外伝扱いにしくても良かったかもしれない。



night 4 表紙ラフ

このお話を描き始めるときに「ストーリーものとしてちゃんと完結させよう」と腹をくくりました。
night 3からプランクが空いたこともあって、絵柄もこの辺りから変わりました。



night 5 表紙ラフ

あきののSっぷりが開花する回。

すべての表紙に言えるのですが、あきのの顔の位置（高さ）にはサド度や上下関係の意味を込めています。

night1ではリリーよりも顔の位置は下でしたが、この回でミラーージュ達より高くなっています。

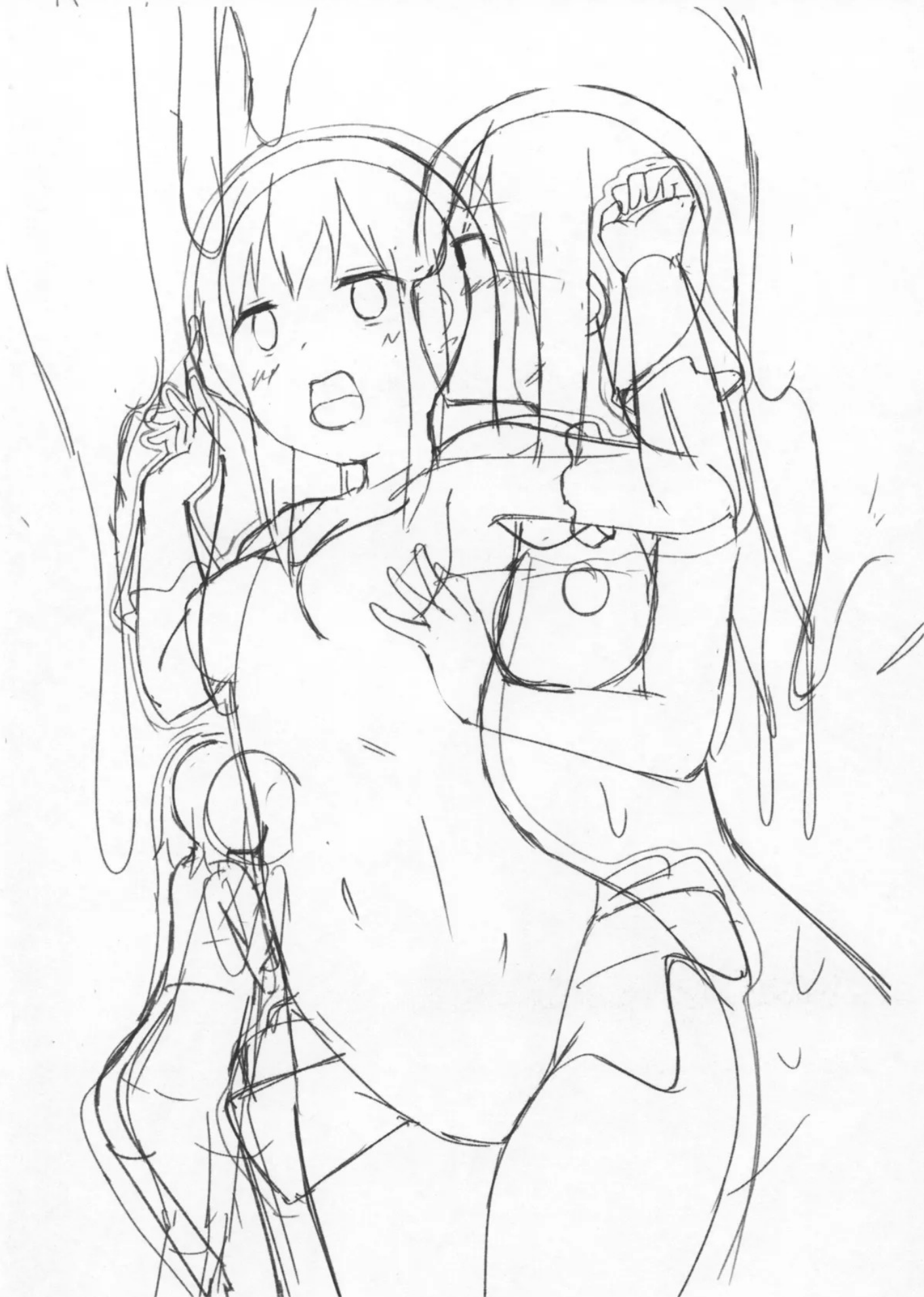


night 6 表紙ラフ

シリアス突入・シェリー登場回。

もともとほのぼの系のノリで描いていたので、シリアス路線は2〜3話で解決させようと思っていましたが、結局最終話まで掛かってしまいました…。

あとこの時点ではシェリーの正装デザインが決まってませんでした。



night 7 表紙ラフ

コロナ禍に入り、イベントが中止になったりオンライン開催になったり、いろいろありました。それと連動して締め切りも伸びたり縮んだりして翻弄されながら描いた記憶があります。



night 8 表紙ラフ

コロナの関係で同人イベントに参加できない時期が続いたこともあり、night 7から9カ月ぶりの発行になりました。Fantia等でのイラスト活動は続けていたので、絵柄がまた少し変わりました。この辺りで、最終話までの構想がほぼ固まりました。



night 9 表紙ラフ

ほのぼのの系は一体どこに行ったんだというくらい吹っ切れてる回。
この時点でnight 1を描いてから5年以上経過し、ジェンダーを巡る情勢は変化してきました。
そういった中で自分の気持ちの変化もあり、当初考えていたお話から変わった部分が多くあります。



night 10の表紙ラフ

現実世界、あきのととは反対の向きで、奥に佇むリリー。night1とは真逆の構図になるようにしました。ページ数が多くて辛かったのですが、いろんなキャラ、いろんなフェチが描けて万感の思いでした。お話の都合で入れられなかったネタもあり、別の形で昇華できたらいいなと思っています。

ミストレス
ユメ渡りの女王様
ラフィラスト集

著者	なか cheeseyeast@gmail.com
発行サークル	チーズ酵母 http://cheeseyeast.com Twitter @cynaka
発行日	2022/8/14 コミックマーケット100
印刷	ねこのしっぽ

DO NOT REPOST.

※無断転載、複製、インターネット上へのアップロード禁止。
Reupload all or any part of this comic is prohibited.
禁止私自转载、加工